別紙様式３

学校運営協議会　会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第８条第１項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

１　会 議 名　東濃高等学校　学校運営協議会　（第１回）

２　開催日時　令和６年６月５日（水）　１０：００～１２：００

３　開催場所　東濃高等学校 図書室

４　参 加 者

会　　長	筒井　幹次	御嵩町副町長　（欠席）
副 会 長	佐口　清道	会社役員
委　　員	奥村　恒也	御嵩町教育長
	各務　眞弓	可児市国際交流協会・フレビア事務局長（欠席）
	嶋﨑　友美	ＰＴＡ副会長
	田中　妙子	税理士　（欠席）
	仲谷　ちぐさ	ＰＴＡ副会長
	矢島　幹也	一般社団法人　てらす　代表理事
	山田　泰平	東海化成工業（株）業務部人事・総務課長
	渡邉　　剛	地域代表　（欠席）
学 校 側	吉田　益穂	校長
	柴田　純孝	教頭
	野田　幹也	事務長
	佐合　ゆかり	教務主任
	篠田　祥史	進路指導主事

５　会議の概要（協議事項）

（１）会長、副会長の選出

➡会長に筒井委員が、副会長に佐口委員が、それぞれ選出された。

≪「演劇表現ワークショップ」の参観≫

（２）「演劇表現ワークショップ」について

意見１：以前にも参観したが、その時の生徒の姿に比べ、今日は生徒が意欲的に参加しており、楽しそうで一体感があった。13 年間継続してきた意味を感じた。（複数）

意見２：社会人として必要なコミュニケーション能力、信頼性、共生チャレンジ等を学ぶことができるが、３年後の出口に向けてこれを発揮できるようにすることが大切である。１年次だけでなく２・３年次も継続して実施できないか。（複数）

⇒　実施できるとよいが、予算の関係もあり２・３年次の実施は難しい。１年次の「キャリア教育プログラム」等で、身に付けた力を確認、発揮できる場を設けている。

（３）「令和６年度教育指導の重点及び学校経営計画」について

➡「令和６年度教育指導の重点及び学校経営計画」を承認

（４）今年度の取組について

意見３：スタディサプリは県内どの高校でも採用しているのか。タブレット端末を持ち帰らないと利用ができないのか。

⇒　本校では個に応じた学習を促すための補助教材として導入している。スマートフォンでも視聴できるが、長期休業の際にはタブレット端末を持ち帰り、取り組むようにしている。

意見４：外国につながる生徒の「日本語能力試験」の合格者数が、一昨年度に比べて昨年度は減っている。合格率が下がったのか、受験者が減ったのか。

⇒　昨年度、受験料が上がったため、生徒が躊躇し、受験者数が減ったためである。

意見５：「日本語能力試験」については、企業では「Ｎ２」合格者でも日本語がよく話すことができると認識しており、「Ｎ１」合格であればかなり高い評価をしている。受験料の問題があるが、就職には大きな武器となるので、ぜひ受験を推奨してほしい。

意見６：遅刻者数は減少しているものの、やや横ばいであり、下げ止まりが心配される。目標を立てて、対策を行っているのか。

⇒　具体的な目標は立てていないが、まず毎月の「遅刻ゼロ週間」での減少を促すため、今年度からこの期間中の遅刻者数を校舎出入口に掲示し、生徒への啓発を行っている。

意見７：外国につながる生徒が、家庭の事情により遅刻や欠席することはあるか。

⇒　一概には言えないが、そのような場合もある。

（５）「スクール・ミッション」の策定について

６　会議のまとめ

今年度第１回の本協議会は、「演劇表現ワークショップ」で活発に活動する生徒たちを見ていただいた上で、今年度の本校の在り方についてご協議いただいた。

委員からは、本校の現状や取組についてご理解いただくとともに、様々なご質問やご意見をいただいた。いずれのご意見も本校の取組に一定の評価をいただきつつ、生徒の更なる成長を促すためのご提言であった。今回、ご承認いただいた教育指導の重点や学校経営計画を踏まえて学校運営にあたり、さらなる発展の一年としたい。